

公表

事業所における自己評価総括表

かぐやにおける「児童発達支援」の取り組みについて、ご利用児童の保護者の方及びかぐやの職員（従事者）からの評価をもとに、事業所としての評価をまとめたもの

○事業所名	児童発達支援センターかぐや		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年10月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和7年10月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保健師、看護師資格を持つ職員がおり、発達の視点からの気づきを支援に活かすことができます。	児童発達支援計画や日々の指導、活動後の振り返りの際など、専門職としての視点を述べたり、保健師としての視点で保護者の相談にあたったりしています。	児童発達支援計画書に発達の視点をもっと取り入れていきます。
2	支援にPDCAサイクルを取り入れています。	支援の単位（午前の支援、午後の支援）ごとに掘り返りを行い、次の機会に活かせるよう記録しています。記録による情報共有や端的にまとめて伝えるという職員のスキルアップのための機会にもなっています。	記録の負担が増えてきており、今後AIの活用など、記録の充実と負担軽減のバランスを考えていきます。
3	外部講師の方に支援内容を評価していただく機会があり職員の資質の向上につながっています。	圏域市町村からの委託事業を実施する中で、外部講師を招いて研修を行っており、圏域の支援者の支援とともに、自らの研修の機会にもしています。	映像記録に残し、広く還元することも検討していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもを理解するための多くの知識、支援の技術力が足りないと考えています。	開所から1年7か月しか経っていないこと、法人内で幼児の支援部門がなかったこと等、経験不足、知識不足は否めない部分があります。	学ぶこと、経験すること、気づくこと、それらを関連付けていくことが、更に学びにつながると考えています。 これまで通り、まずはやってみることは続けていきます。
2	個別の支援に際し、与える課題について提供側のアプローチ方法の統一が必要と考えています。	課題（プログラム）の理解度、こどもの状況のアセスメント力、こどもの興味関心度への気づき等のスキルに個人差があります。	職員間で共通理解する機会を作るとともに、一定のこどもに関わり続けることなく職員側がローテーションすることで、多くのこどもを理解する機会を作っていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

かぐやにおける「児童発達支援」の取り組みについて、ご利用児童の保護者の方からの評価をまとめたもの

事業所名 児童発達支援センターかぐや

公表日 令和7年11月26日

利用児童数

9

回収数

7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			1	・1対1で支援や他のスタッフ様も十分に支援して頂いております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7				・お迎えのときに、玄関でドアを開閉する時に子どもの指（自分の子や他のお子さん）が挟まれそうでヒヤッとしました。	その現場の状況は把握しておりますが、保護者側からはヒヤッと感じられたようで、ご心配をおかけしました。 クッション材を貼り付け、指が挟まれにくいよう、また万が一挟まった場合でも怪我が最小限となるよう修繕しました。あわせて普段は施錠し職員が扉を開けるようにするとともに、施錠にあたり入口に呼び出しチャイムを設置しました。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6			1		モニタリング等の機会を通じ、引き続き保護者の方への説明をしていくとともに、専門性を高められるよう研修を進めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5			2		モニタリング等の機会を通じ、引き続き保護者の方への説明をしてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1		1		保育施設に在籍しながら利用する並行通園のこどもがほとんどであるとともに、短時間の活動という都合上、他のこどもと活動する機会を持つことは難しい状況です。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6			1	・忘れました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6			1	・連絡帳から活動の様子が伺えてありがたいです。 ・忘れました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1		2		家族支援プログラムについては、技術研修を受講するいとまがなく実施できておりませんが、研修等の情報については引き続き提供してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	7				・ささいな事でも、常に連絡を下さいます。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7				・不安や心配事なども耳を傾け聞いて下さいます。 ・連絡帳はもちろん、送迎のタイミングでいつも色々お話ししてくださり嬉しいです。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1		3		保育施設に在籍しながら利用する並行通園のこどもがほとんどであるとともに、短時間の活動という都合上、保護者会等の活動や保護者同士の交流の機会機会を持つことは難しい状況です。きょうだいへの支援も同様です。 市町村からの委託事業のなかで検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			1		定期的にお知らせする機会を持つようにしてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				・報連相が常にあり、安心できています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5			2		フェイスブックを通じて活動の様子をお伝えしているほか、法人のホームページで自己評価の結果を公表しております。連絡帳にQRコードを表示しておりますのでご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	1		1		個人情報については、職員間でも必要以上に共有しないなど、取り扱いには注意をしております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			2		マニュアルは整備し、閲覧できるようにしておりますが、お知らせが不十分のようでした。今後、定期的にお知らせするようにいたします。 また、訓練については、かぐやの所属する施設全体で取り組んでおります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			2		訓練については、かぐやの所属する施設全体で取り組んでおります。こどもについては、日常の散歩等を通じて、手をつないで行動できるよう取り組んでおります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1		計画等のお知らせが不十分であったと思います。今後、定期的にお知らせするようにいたします。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			1		事故等は現在まで発生しておりませんが、連絡方法等の説明が不足していると思います。今後、定期的にお知らせするようにいたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7				・子どもがかぐやから帰ってくる といつもニコニコしてます！ ・明日はかぐやの日？と聞いてきて楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				・かぐやさんに通所を始め、こどもができることが増えました。かぐやさんのおかげだと感じています。これからもよろしくお願いします。 ・家ではできない経験をたくさんさせて頂き感謝しています！これからもよろしくお願いします。	

公表

事業所における自己評価結果

かぐやにおける「児童発達支援」の取り組みについて、職員からの評価をまとめたもの

事業所名 児童発達支援センターかぐや

公表日 令和7年11月26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	・主に活動する部屋にできるだけものを置かずに広めのスペースを確保できている。	・利用定員に対して、発達支援室が狭いと思われる。 ・利用定員10名に対して、発達支援室のスペースは狭いと思う。発達支援室で個別活動を行うことを考慮すると、部屋の広さに対しては4名程度が適切だと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2		・1人の利用者に1人の支援者と考えた場合、もう少し職員がいて欲しいと感じる時がある。 ・現在の利用人数であれば一対一で対応出来ているので大丈夫であるが、一対一の人数を超えてしまうと丁寧な対応が崩れてしまう可能性がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4	職員の配置数は適切であると思いますか。	4			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・パーテーションを使って外部からの刺激を少なくできる。 ・室内の空いているロッカーがクールダウンの場になっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・フォーマルなツールは用いてはないと思うが、日々の支援終了後に職員内で振り返りを行い、支援改善に繋がられている部分はある。	・フォーマルなアセスメントについては、今後検討の余地があると思う。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・プログラムを提案し、その上で職員から意見吸収し、プログラムに組み込	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		・肢体不自由児の支援に関しては、保護者からの希望もあり、個別と集団を組み合わせたプログラムとしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		・時間がなくて後日にも全員で振り返りの時間がとれなかった日もあるが、活動後、それぞれが気になったことを聞き合える環境ではある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・職員間で共有して意見を出すことで、次回の個別支援計画書に反映できるようにしている。	
関係機関や	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・会議の前にモニタリング担当者を中心に状況の確認が行われている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・必要に応じて必要な機関とはやり取りしているが、なかなか医療の機関となると難しさがある。 今回、医ケア児を受け入れるにあたり、医療機関に同行できたのはとても良い機会であり、今後に繋がるものと思われる。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		・保育施設等とは、情報共有を図れる機会を取れるようになったが、同業種（児発事業所）とは取れていないのが現状である。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			・今年度が初めてである。支援学校に進学する子どもがいるので、今後会議等に参加予定。

保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	2	2		・同じ地域の児発事業所とは連携が取れていないのが現状である。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4		・保育所等訪問支援の中でイベントに参加させて頂き、交流を図っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・モニタリング時には必ず、保護者に聞き取りをおこなっている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		・訓練は実施しているが、定期的にと いうことではない。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		・保護者からの聞き取りは行っている が、医療機関からの指示書はいただ いていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		